

アイドリングストップコントローラー ISC434 取付/取扱説明書

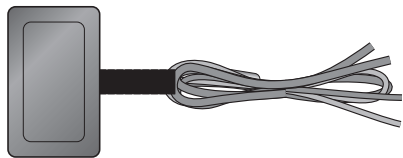


このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後保存し、必要な時にお読みください。
適合については弊社の最新適合表を必ずご確認ください。

本製品はアイドリングストップ機能搭載車のエンジン始動時にアイドリングストップ機能を自動でOFFにする製品です。
本製品装着後も純正動作に戻せる「純正モード」を搭載しています。

内容物一覧

■ISC434本体 ×1



- E-クランプT型 ×5 I型 ×2
- 両面テープ(大) ×1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1
- 保証書&ユーザー保証登録カード ×1

保証について

●付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。
保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

- ※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
- ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
- ※保証規定は保証書を参照してください。
- ※保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、8年間に設定しています。

※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

ご相談窓口



お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ(PC) <https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>



弊社製品紹介・製品取付 動画サイト <https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>



株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■[本社] 東京都新宿区新宿 1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田 1-1-11

本取扱説明書は著作権法で保護されています。取扱(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

ISC434-2305-AKN

製品仕様

電源電圧	DC12V
消費電流	約20mA
本体外形寸法	W60×H13.5×D37mm(突起部除く)
ヒューズ容量	1A

注意(必ずお読みください)

注意事項は「 危険」、「 注意」、「 警告」、「 重要」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

注意事項

ご注意

本製品は日本仕様車専用設計されています。故障や事故などの原因となりますので、海外仕様車への取り付けは絶対におこなわないでください。また、日本国外での取り付け、販売および使用を禁止しています。日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いません。

This product is designed for Japanese specification vehicle. A serious breakdown and accident might be caused when install it in an oversea specification vehicle. And sale, installation or use outside of Japan is prohibited. The manufacturer is not responsible for use of this product outside of Japan.

危険

●シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。

注意

- 本製品は12V車専用です。
- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取り扱い業者でおこなってください。
- 本体を直射日光が当たる場所やヒーターの温風が直接当たる場所・高温・多湿になる場所には設置しないでください。故障や誤動作・ノイズ発生などの原因になります。
- 配線部分を強く引っばらないでください。断線や接触不良の原因となります。
- 本製品を取り付ける際、ハーネス、配線などがパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線などの原因となります。
- 車両側および本製品の配線を傷つけたり、本体を変形させたりしないでください。
- 本体は付属の両面テープで車両に固定してください。また、使用中にケーブル類が引っ張られ本体から外れないようケーブルの取り回しにご注意ください。
- 必要に応じて配線部を固定してください。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の原因となります。

重要

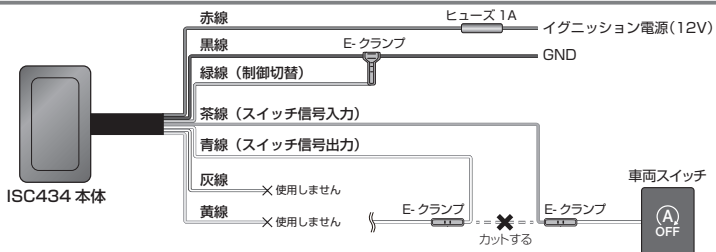
- 本製品は弊社適合表に記載している車両に限り装着、ご使用いただけます。またマイナーチェンジ等で仕様変更があった場合は装着できない、動作しないことがあります。
- 本製品を使用して発生した人身・物損事故、車両の故障、または破損、安全義務違反による罰金・減点等に関しての責任は一切負いません。
- 製品の仕様、デザイン(寸法含む)は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任・保証を負いません。

接続概要図

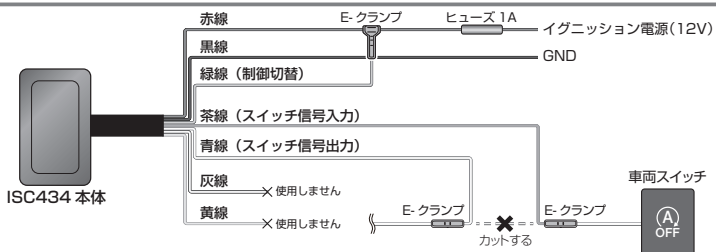
下記、取付例はイメージです。 ※車両スイッチ(アイドリングストップOFFスイッチ)の形状および表示は車両により異なります。

重要 ●実際の取り付けにつきましては下記URLより車種別取付説明書をダウンロードしてください。
<https://www.datasystem.co.jp/products/isc434/cartype.html>

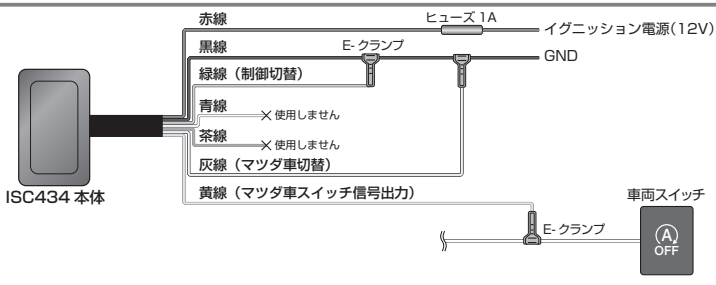
取付例1 (マイナス制御の場合)



取付例2 (プラス制御の場合)

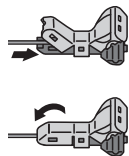


取付例3 (マツダ車の一部)

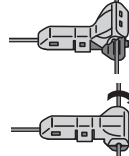


E-クランプのつかいかた (注)配線の太さが合わない場合は直接結線又は、市販のクランプ等で接続して下さい。

1. 本製品の配線を奥まで挿入します。
2. ペンチを使用して、フタがロックするまでしっかりと押し込みます。



3. 接続する配線を挿入します。
4. ペンチを使用して、フタがロックするまでしっかりと押し込みます。



Q&A

Q. アイドリングストップ機能がOFFにならない。

A1. 【純正モード】になっている可能性があります。モード切替を行い【アイドリングストップキャンセルモード】にしてください。

A2. 取付説明書をご確認の上、結線に間違いがないかご確認ください。

接続後の動作確認

1. 取り外したコネクタなどを元に戻し、エンジンを始動させます。
2. アイドリングストップ機能がOFFになっていることを車両の表示ランプでご確認ください。(表示ランプの点灯箇所につきましては車両取扱説明書をご参照ください。)

各モードについて

アイドリングストップキャンセルモード

※工場出荷時設定
 エンジン始動時にアイドリングストップがOFFとなり停車時にアイドリングストップが作動しません。

純正モード

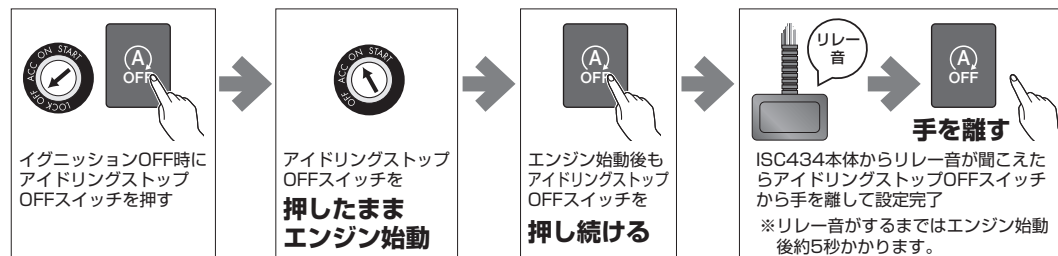
車両仕様に基づきアイドリングストップが作動します。車両側アイドリングストップOFFスイッチを操作することでアイドリングストップの作動をOFFにできます。

モード切替方法

●モード切替を行う毎に **アイドリングストップキャンセルモード** ↔ **純正モード** に変更できます。

マツダ車以外の場合

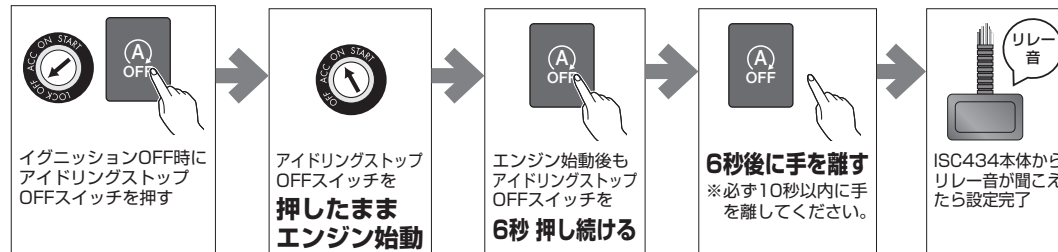
車両のキースイッチOFF状態から、アイドリングストップOFFスイッチを押しながらエンジンを始動しそのまま離さず押し続けます。ISC434本体からリレー音が出たらスイッチを離してモード切替完了です。



重要 ●リレー音は、アイドリングストップキャンセルモード→純正モードに変更の際には「カッチ カッチ」、純正モード→アイドリングストップキャンセルモードに変更の際には「カッチ」と鳴ります。

マツダ車の場合

車両のキースイッチOFF状態から、アイドリングストップOFFスイッチを押しながらエンジンを始動しそのまま離さず6秒押し続けてスイッチを離します。ISC434本体からリレー音が出たらモード切替完了です。



重要 ●リレー音は、アイドリングストップキャンセルモード→純正モードに変更の際には「カッチ」、純正モード→アイドリングストップキャンセルモードに変更の際には「カッチ カッチ」と鳴ります。